

JAC創立100周年記念国内登山(中央分水嶺踏査)の山行報告書

(1)~(8)は必ず記入してください。(9)~(11)は、気づいた事項があれば記入してください。

(1)担当支部:	北海道支部	(2)記載者氏名:	長谷川雄助	会員番号	6103	事務局整理記入欄	北海道-85
分水嶺区分:	H125無名峠~H126クオベツ山	(3)山行日:	2004年	5月	1日	(4)天候	晴れ

(5)参加者氏名および会員番号

サポート要員氏名および会員番号

長谷川雄助	6103						
若林修三	6227						
島山由子	12850						
計		3		計		名	

(6)山行記録・位置確認(出発点・ピーク・峠・到達点など、主要ポイントに関して)・所要時間・道の状況

コース概略:	R274夕張市滝の上→道々1064号→於兎牛沢川林道→無名峠→クオベツ山への分水嶺→クオベツ山												
アプローチ:	札幌市→由仁町川端→夕張市滝の上→於兎牛沢(オソウシ)川林道→無名峠												
地点コード	地点名	2.5万分の1 地形図名	経度E			緯度N			高度 m	到着 時刻	出発 時刻	道の 状況	(8)~(11)の特 記事項等との 関係
			度	分	秒	度	分	秒					
歩行開始点													
分水嶺到達点H12	無名峠	十三里	142	1	12.1	42	50	55.1	346	9:15	9:33	B-3	9
	P406	"	142	0	49.4	42	50	54.1	396	9:47	9:55	B-3	9
	P427	川端	142	0	31.4	42	50	45.2	422	10:24	10:30	B-3	9
	P440	"	141	59	56.6	42	50	50.6	430	11:15	11:33	B-3	9
	クオベツ分岐	"	141	59	34.0	42	51	2.6	480	11:42	11:45	B-3	8・9
H126	(クオベツ山)												(7)・10
分水嶺離別点	無名峠	"	142	1	12.1	42	50	55.1	346	13:40		A-1	
歩行終了点													
										総歩行時間(休憩時間を除く): 2時間40分			
										分水嶺距離 5.0km : その他 0			

(7)三角点の位置と保存状況

上記(6)の地点コードを 記入してください	点名	等級	方位	保存 状況	特記事項
H126	クオベツ山	2	不明	不可	三角点の標柱はあったが、頭部が欠損し二等の二が見えない、更に根本まで露出し南西方向に傾いていた。 クオベツ山頂上を集材土場として平坦にならした際、重機で引っ掛けたものと思われる。

(8)人工施設の現況および地形図との相違点

クオベツ山西稜線の東西斜面は、森作りセンター(旧・林務署)管轄で、盛んに伐採、植林が行われている。そのため、2万5千分の1に記載のない林道が数多く作られ、GPSを活用して林道を選択していかないと、迷い込むおそれがある。

(9)水および植生に関連した特記事項

自然林は、カツラ、キハダ、ダケカンパなどの広葉樹が多いが、かつて多数あったという野球のバット材のアオダモは極めて少なく、まだ若い植樹林は、アカエゾマツ、カラマツが殆どを占め、現在、皆伐し植樹のための刈分けが行われている場所もある。

(10)その他の特記事項

クオベツ山頂は、分水嶺上から約100メートル離れている。

(11)写真の添付:(有りの場合には、写真説明を記入してください)

写真説明: 先端が欠け、根本が露出した三角点標石

山行報告書(続き)
表面(1ページ目)に書ききれなかった事項を記入してください。



先端が欠け、根本が露出した三角点標石